2014年3月期
決算説明資料

2014 年 4月
日本ガス株式会社
（日本瓦斯株式会社）

すべてはお客様のために

目次

1. 2014年3月期決算の実績

2. 2014年3月期の取組

3. 2015年3月期の業績予想

4. 株価推移と配当

1．2014年3月期決算の実績／①概要

・増収増益。3期連続で過去最高益を達成。EBITDAも続伸。

・お客様数も順調に拡大。ガス販売量も続伸。

単位：億円

	2013/3期	2014/3期	増　減	備考
PL ＆ CF				
売上高	1,171	1,268	+97	・増収
営業利益	79	90	+11	・増益。3期連続で過去最高益
当期純利益	38	95	+57	・増益。3期連続で過去最高益
EBITDA	181	193	+12	・増加。前期比+12億円
B/S				
総資産	1,250	1,235	▲15	
純資産	530	448	▲82	
業容				
お客様数（純増）	48,151	36,980	▲11,171	・2013/3に大型M＆A有り。その反動。
お客様数	1,029,740	1,066,720	+36,980	・順調に増加。
ガス販売量（千トン）	621	631	+10	
指標				
ROE	9.84%	22.25%		・純利益が大幅増益

1．2014年3月期決算の実績／②損益計算書

・営業利益で前期比+11億円の増益達成。

・3期連続で、営業・経常・当期純利益の各段階で過去最高益。

単位：億円

	2012/3期	%	2013/3期	%	2014/3期	%
売上高	1,103	100%	1,171	100%	1,268	100%
（内、都市ガス事業）	(459)		(481)		(524)	
（内、LPガス事業）	(644)		(690)		(744)	
営業利益	75	6.8%	79	6.7%	90	7.1%
（内、都市ガス事業）	(34)	(7.4%)	(36)	(7.5%)	(36)	(6.9%)
（内、LPガス事業）	(41)	(6.4%)	(43)	(6.2%)	(54)	(7.3%)
経常利益	71	6.4%	82	7.0%	92	7.3%
特別損益	▲1		▲4		+40	
当期純利益	31	2.8%	38	3.2%	95	7.5%

営業利益

・続伸。過去最高益。売上高利益率も向上

・LPガス事業で経費削減進む

特別損益（主な内訳）

・負ののれん +60億円

・海外投資減損 ▲19億円

当期純利益

・続伸。過去最高益

１．2014年3月期決算の実績／③貸借対照表

- 完全子会社化に伴い少数株主持分が減少。株主資本が増加。
- **Net D/E Ratioは0.7台と安定して推移。**

単位：億円

	2012/3期	2013/3期	2014/3期	増　減
総資産	1,220	1,250	1,235	▲15
現預金	172	149	145	▲4
流動資産	327	304	338	+34
固定資産	890	945	897	▲48
有利子負債（除くリース債務）	471	446	491	+45
Net有利子負債（除くリース債務）	299	297	346	+49
純資産	486	530	448	▲82
（内、株主資本等）	365	402	448	+45
（内、少数株主持分）	121	128	0	+128
Net D/E Ratio	0.82倍	0.74倍	0.77倍	+0.03倍

固定資産

・豪州投資のCash化等により減少

有利子負債

・14/3のNet有利子負債+49億円

少数株主持分

・完全子会社化により少数株主持分はほぼゼロ。株主資本増加

Net D/E Ratio（Net有利子負債÷株主資本）

・0.7台と安定した水準

1．2014年3月期決算の実績／④Cash Flow

- **2014/3 EBITDAは193億円に増加（前期比+12億円）**
- **投資CFは営業CFの範囲内で推移**

単位：億円

	2012/3期	2013/3期	2014/3期	増　減
EBITDA	180	181	193	+12
営業CF	+174	+152	+139	▲13
（内、各種償却費）	(+105)	(+103)	(+103)	0
投資CF	▲131	▲143	▲72	+71
（内、有形固定資産取得）	(▲75)	(▲96)	(▲76)	+20
財務CF	+37	▲36	▲74	▲38
（内、借入収支）	(▲58)	(▲24)	(+43)	+67
CF　Total（換算調整前）	+80	▲26	▲7	+19

EBITDA

・**14/3期 EBITDA 193億円（前期比+12億円）**

営業CF

・**売上債権と棚卸資産が増加**

投資CF

・**豪州投資のCash化、国内投資の選別、海外投資の減少が主要因**

財務CF

・**自己株取得▲102億円**

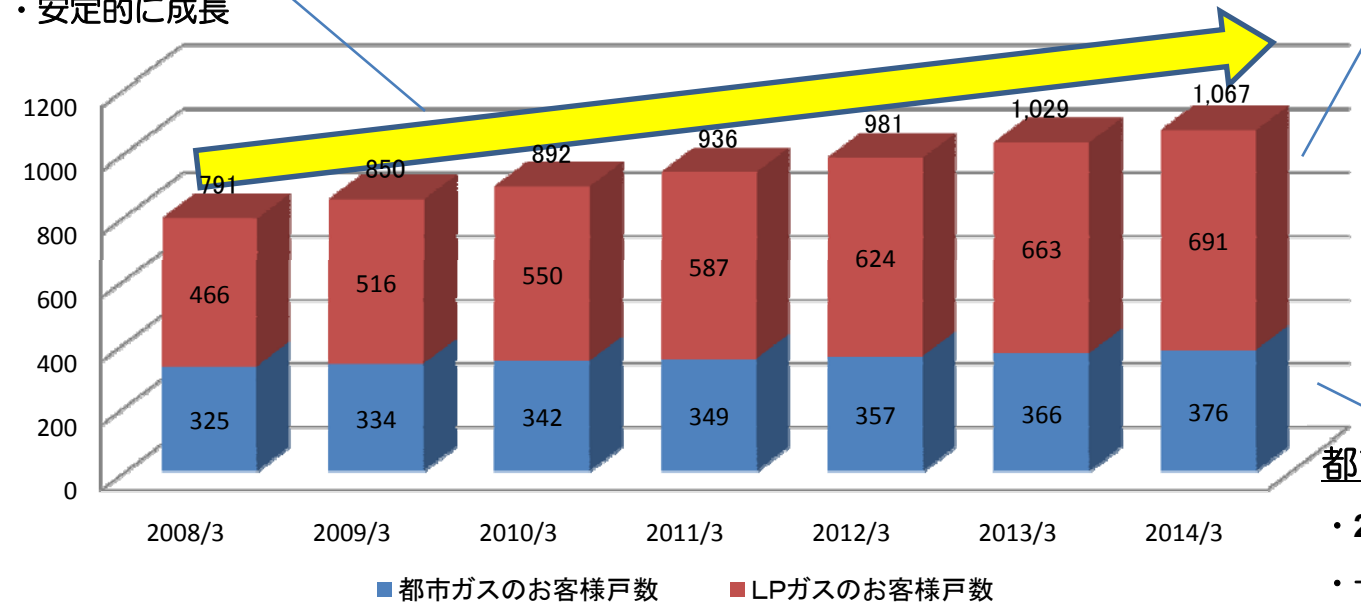
1．2014年3月期決算の実績／⑤お客様数

・完全自由化市場のLPガスと、2016年自由化見込市場の都市ガスの両方でお客様数を順調に拡大。

お客様数

・安定的に成長

単位：千件



LPガス（完全自由化市場）

・2014/3：前期比+28千件

・完全自由化市場で個別訪問の営業力で顧客基盤を拡大

・尚、上記顧客基盤の拡大は、当社のLPガスの平均販売価格が、全国平均より3割以上安い中での達成（2014年3月実績。石油情報センターのデータ）

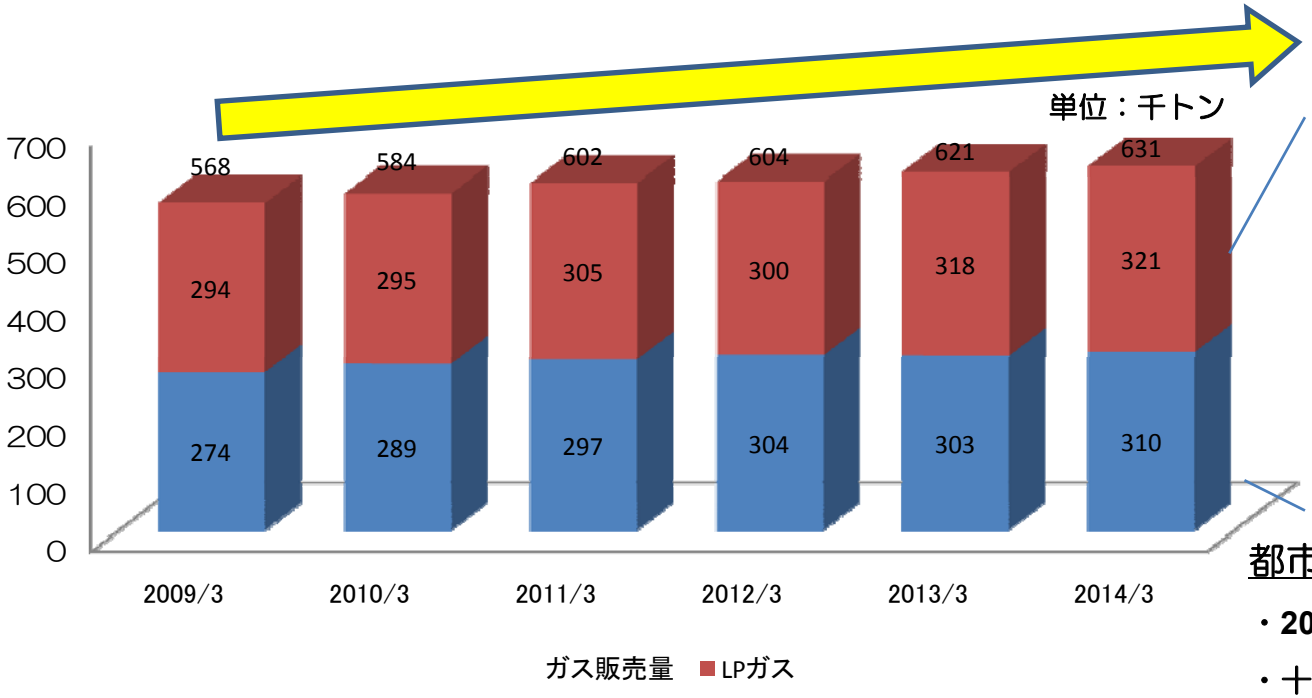
都市ガス（2016年自由化見込）

・2014/3：前期比+10千件

・十分なCFによりガス導管を延伸してお客様戸数を拡大

1．2014年3月期決算の実績／⑥ガス販売量

・完全自由化市場のLPガスと、2016年自由化見込市場の都市ガスの両方でガス販売量を順調に拡大。



LPガス（完全自由化市場）

・**2014/3**：前期比**+3**千トン

・完全自由化市場で戸別訪問の営業力で顧客基盤を拡大

都市ガス（2016年自由化見込）

・**2014/3**：前期比**+7**千トン

・十分なCFによりガス導管を延伸して、ガス販売量を拡大

２．2014年3月期の取組／①自由化への備え

・都市ガス子会社4社の完全子会社化（2014/12/20発表）

・2014/3/7に都市ガス子会社4社を完全子会社化。グループ一体化を推進、意思決定を迅速化。自由競争が始まる都市ガス事業でのコスト合理化と競争に対する意識改革を断行。

・コスト面では、共同仕入れによるコストダウンに止まらず、管理部門やシステムの統合も推進、業務の高質化とコスト低減を両立させる。

・ｱｸｱｸﾗﾗﾚﾓﾝｶﾞｽﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ（「ALHD」）との事業統合も視野に入れた業務提携についての検討開始（2014/1/16発表）

・ALHDは、神奈川西部等でLPｶﾞｽ販売を、全国規模で宅配水事業を展開中。

・当社は、エネルギー自由化後の総合エネルギー企業群の形成に向けて、着々と準備を推進。

２．2014年3月期の取組／②海外事業の拡充

・北米での電力・ガス小売事業の拡大

・北米の電力・ガス小売が順調に拡大。**2014/3**末時点で**99**千件に到達（内訳：テキサスの**Entrust**が**89**千件、北東部の**NES**が**10**千件）。

・新規お客様数増大の主要因は、自社内に設けたドアノック営業部隊の実績拡大。

・Co zero（豪州ＥＭＳ事業者）への出資

・商業・産業用顧客向けに省電力マネジメントを提供する豪州会社への資本及び経営参加を実施。

・出資を通して、自由化後の我が国エネルギー市場で極めて重要な事業領域となる小売分野での省エネに関する事業ノウハウを蓄積。

３．2015年3月期の業績予想

・営業利益・経常利益で4期連続の過去最高益更新を予想。

・営業利益100億円、EBITDA200億円、１株あたり純利益136円を予想。

単位：億円

	2014/3期 （実績）	2015/3期 （予想）
売上高	1,268	1,330
営業利益	90	100
当期純利益	95	60
１株あたり純利益（円）	220.93	136.25
EBITDA	193	200

4. 株価推移と配当

・株価推移

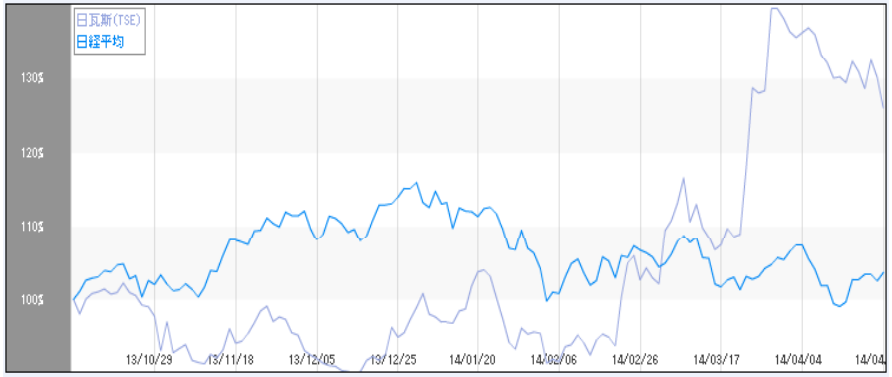
・株価は大きく上昇後、堅調に推移。

・完全子会社化を株式交換で実施したことにより、株主様数は約**1.5**倍に増加（**2,886**名→**4,229**名）。出来高も増加している。

株価推移（2013/10月～2014/4/23終値時点）



株価推移/日経平均との指数比較（期間は同左）



・配当額倍増（**13**円→**26**円）の実施

・**2014/3**月期の配当を**13**→**26**円に倍増（**13/12/20**発表）権利落ち後も株価は堅調に推移。